



集中豪雨の被害を受けられた皆様に心よりお見舞い申しあげます

竹内政住 鎌田篤司 小林康宏
 土屋善旦 鈴木八重久 藤田勝司
 波多野 努 伴 捷文 喚田孝博
 野崎正美 大場康議 飛田常年



医師確保と設楽ダムの早期実現

会長 鎌田篤司



「月日は百代の過客にして、行かふ年も又旅人也」。これは、芭蕉の「奥の細道」の一説で、「時は永遠の旅人」と言った意味だと私は解釈しています。私の最も好きな文章のひとつです。

時は、旅人のように人々の前に来ては「すつと」去って行ってしまいます。が、蒲郡の諸課題は、「すつと」は去っては行きません。それに加えて、今夏は、文字通りの記録的な豪雨災害に襲われました。床上20件・床下91件の浸水、崖崩れ20件等の被害の対応については、万全の手配を当局に申し入れました。今議会で、今回の豪雨での道路・河川等の被害に対して、5715万円の補正予算が組み込まれました。

「蒲郡市政クラブ」は、陳情活動として、8月18日に、県の建設部・中部地方整備局・名四国道事務所等へ行き、8月26日と27日には、国交省の道路局と港湾局、財務省の主計局、競艇事業の三団体に行っていました。市議会の責任会派12名が打ち揃っての陳情活動は全国的にも余り例がないらしく、各局長・部長に対応して頂き、道路・蒲郡港等の私共の陳情に対して、誠に真摯に対応して頂きました。

そして、地元の杉田元司・浅野勝人・鈴木政二の各国会議員の方々には、設楽ダムの早期建設を含めた、水の安定供給と今回初めて、「医師の早期確保」についても、陳情活動をして来ました。

安心して暮らせる町づくりに向けて

蒲郡市議会議員 土屋善旦



今年の夏は、近年にない厳しい暑さのあとに、突然のゲリラ豪雨に襲われ、今まで経験したことのない長時間にわたる雷鳴と豪雨に、みまわれました。市内では20件の床上浸水、91件の床下浸水の被害が市内各所で発生しました。

被災されました市民の皆様にお見舞い申し上げます。

さて、9月議会は19日間にわたって開催され、19年度の決算認定を始め、教育委員会委員の任命、条例の制定、補正予算等々の審議が行われました。特に決算認定にあたっての特別委員会では、昨年度執行された予算について厳格な質疑を通して、次年度への予算編成に、市民皆様の声が多方面から述べられ、慎重審議が行われたところであります。

本年度も半期が過ぎましたが、アメリカでは金融危機発端による世界経済の低迷や、国内では事故米の転売問題など、私たちの生活の不安感が募るばかりであります。今後とも蒲郡市政クラブの会員とともに、蒲郡市の発展と市民皆様が安心して暮らせる町づくりに向けて、全力で邁進してまいりますので、引き続きのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

設楽ダム建設に賛成

『設楽ダム建設事業負担金に関わる請願書』には「不採択」に賛成

私共の故郷蒲郡は、自己水源ゼロの街で、飲み水も、農業も工業もそのほとんどを豊川総合用水に依存しています。

設楽ダムの建設に反対する方々は、水は足りている等の理由を述べておられますが、豊川総合用水での蒲郡の年間取水量は、計画水量を一億トン下回っているのが現状であります。平成17年度にも、109日間の節水を余儀なくされております。

私共蒲郡市政クラブは、市民に水の心配をかけない街作りに努力をしたいとの一念で、この請願に対しては、「不採択」に賛成を致しました。



▲8月26日 財務省・国交省へ陳情



▲9月28日 市民まると市民病院応援団設立総会



▲8月19日 蒲郡海洋開発㈱と情報交換会



▲9月30日 西浦スパモーターパーク情報交換会

トピックス

大塚海浜緑地が完成!

7月20日の「海の日」に平成6年度から愛知県が進めてきた大塚海浜緑地の完成式典が挙行された。広さは約12万㎡で芝生と砂浜が一体になっている施設。うち緑地は97000㎡、砂浜が24000㎡あり海が満喫できる。

ラグーナにホテル計画!

蒲郡海洋開発㈱は会員制リゾートホテル「エクシブ」を展開しているリゾートトラスト(本社 名古屋市)によるホテル計画を進めている。場所はラグーナマリーナに隣接し、温泉施設「ラグーナの湯」に並ぶ三河湾を一望できる丘陵地の一角。部屋数は200室前後。予定では平成23年にオープン予定。

「蒲郡みかん」地域ブランド指定を受ける

市特産の「蒲郡みかん」が県内農産物では初めて地域ブランドに指定された。指定は県内8例目で、市内では三河木綿に次いで2例目。ブランド指定を有効に利用し他産地との競争力の強化を図っていくと期待される。

「市民まると市民病院応援団」の設立

9月28日に「応援団」の設立総会が市民会館中ホールで盛会に開催された。市民病院では医師不足により消化器内科と心療内科を休診。この7月末からは60床の休止も行っている。勤務医の負担が増大する中で市民にも市民病院の利用のあり方を考えてもらおうと総代会、老人クラブ、小中学校や保育園の保護者など関係6団体により発足。団長は前総代会長の坂部哲雄氏。

蒲郡市政クラブ 主な活動

- 7月 5日(土) 「公立病院改革ガイドラインを考えるセミナー」名大豊田講堂
- 11日(金) 「蒲郡市政クラブだより」各駅頭配付
- 17日(木) 「蒲郡の観光を考える会」勉強会
- 27日(日) 「自民党蒲郡市支部総会」
- 8月 6日(水) 東三河五市・市議、議会事務局職員合同研修会
- 18日(月) 愛知県庁建設部・名四国道建設事務所等陳情
- 19日(火) 蒲郡海洋開発㈱との情報交換会
- 23日(土) 眺海園納涼祭
- 26日(火)・27日(水) 国交省・財務省・競艇関係3団体陳情
- 29日(金) 蒲郡港宮施設臨時総会
- 30日(土) 土屋議長就任祝賀会
- 31日(日) 市民総ぐるみ防災大会
- 9月 3日(水) 障害者歯科治療勉強会
- 8日~26日 9月定例市議会
- 14日(日) 自民党総裁選立候補者立合演説会(名古屋市)
- 27日(土) 東三河公職者会議(豊川市)
- 28日(日) 市民まると市民病院応援団発会式
- 30日(火) 西浦スパモーターパークとの情報交換会
- 10月 1日(水) 青少年健全育成市民大会

※その他 「生命の海科学館」「東港活用」「企業用地確保」各検討委員会随時開催されております。